



大本山誕生寺と樹齢200年を超える松：鴨川市



現在の鴨川市（旧天津小湊町）には、日蓮聖人生誕の地に、誕生寺があります。鎌倉時代に、日蓮聖人の弟子・日家上人が、日蓮聖人の生家跡地に建立したと、伝えられています。本堂の手前の誕生堂の傍には、樹齢200年を超える松があります（上写真）。お寺の近くには、遊覧船観光ができる鯛の浦もあります。夏目漱石が小説「こころ」のなかで、鯛の浦を散策中に、K君が先生に向かって話した「精神的に向上心のないものは、ばかだ」というセリフが有名です。

さて「新建ちば」は次号で300号となり、支部活動50周年を迎えます。こちらは諸先輩・現在会員方々の精神的向上心の賜物です。新建ちばの活動が、誕生寺の松のように、200年以上続いて行くことを、心より願っております。（写真・文：田中 和広）



* 目次 *

- 02 目次・企画予定表 旅の想いでスケッチ No14
 03 実務者から見た建築基準法及び省エネ基準改正
 05 世界まち歩き 41 エーゲ海クルージング・島めぐり 4 ロードス島 高山登
 08 事務局だより

新建

ちば

2025年3月号

No.299

鈴木進

加瀬澤文芳



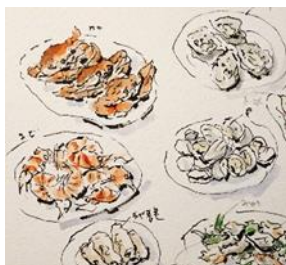
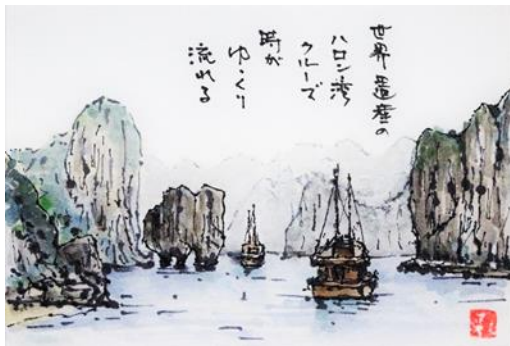
* 企画予定表 *

月	支部企画	その他企画	全国・他支部企画	その他
3月				13 (木) 20:00～ Web 支部幹事会＋交流会
4月			19 日(土)全国幹事会 Web	10 (木) 20:00～ Web 支部幹事会＋交流会
5月			15 日(木)全国常任幹 事会 Web	8 (木) 20:00～ Web 支部幹事会＋交流会
6月				12 (木) 20:00～ Web 支部幹事会＋交流会

【旅の思い出スケッチ No14】

鈴木 進

● 国外編（ベトナムその2）



ハロン湾は、ハノイから東に 150km ほどのベトナム北部に位置します。数千の石灰岩の奇岩が林立するハロン湾の 2 時間ほどの世界遺産クルーズでは、時がゆっくり流れ、絶景や船内での魚介類の食事(2017 年は山の会のメンバーと一緒に。無理を言って食べる前にスケッチ)を楽しんできました。ハロン湾には水上生活をしている人々の集落があります。2002 年には(上記スケッチ)は、水上生活の様子が垣間見られるまとまった集落がありましたが、2017 年の時には殆ど見かけませんでした。ルートが違ったからか、水上生活者が少なくなったからか？

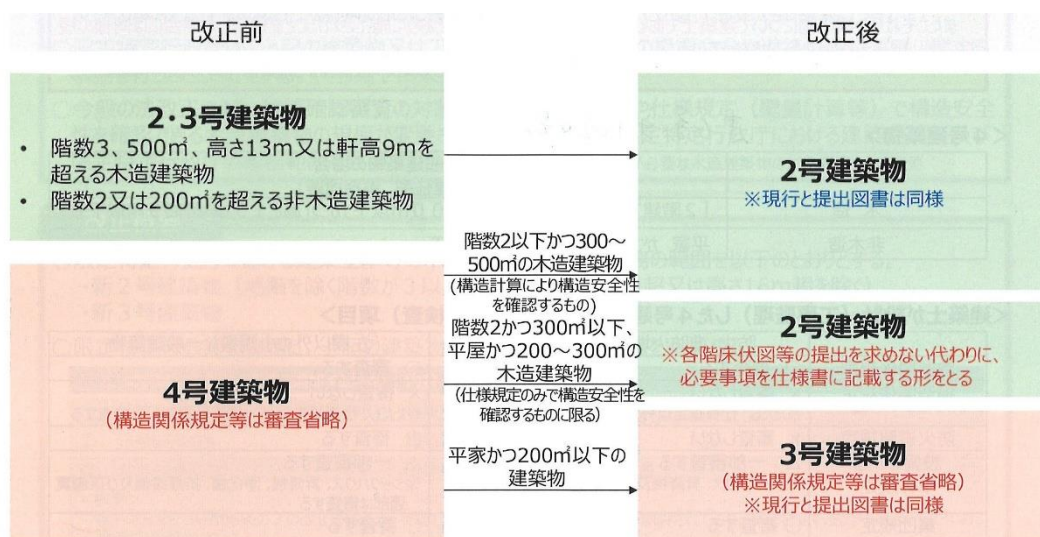
実務者から見た建築基準法及び省エネ基準改正

加瀬澤文芳

2025年4月より新基準が適用になる。実際に手掛けてみないと法改正の詳細にはとても触れられないが、その概要と現場での対応について、日ごろ木造増改築などを手掛けている設計事務所の立場から所見を述べる。

・4号建築物から2号3号へ

下記に示すように4号建築物がなくなり、規模によって2号3号となる。これまで4号建築物は構造の審査対象外とされていたが、平家かつ200㎡を超えるものは審査されることになる。2階300㎡以下は四分割壁量計算と柱梁N値計算等の作業で対応できるのでそれほど負担にはならないが、それ以上は構造計算を求められる。直近で規模の大きな木造建築を手掛けたが、許容応力度計算でもとんでもないページ数になった。いずれにしてもこれからは仕上げ材から設備まで記した細かな仕様表は求められるようだ。また都市計画区域外は3階または500㎡以下は確認申請そのものが不要だったが、改正後は平家かつ200㎡以下の建築以外は申請が必要になった。



・増改築について

住宅センター講習会で増改築申請について、完了検査を受けていない建築については受け付けないといわれ唖然とした。住宅など最近まで完了検査など受けていなかった。増築申請ができない、つまり10㎡を超える増築はできないといわれたと同じだ。屋根の葺き替えは大規模の模様替えで申請とのとこ。耐震改修で瓦屋根を金属屋根に吹き替えることを普通にやっている。そのようなケースでどこまで既存の構造や断熱仕様が許されるのか非常に懸念される。具体の案件について協議していく。

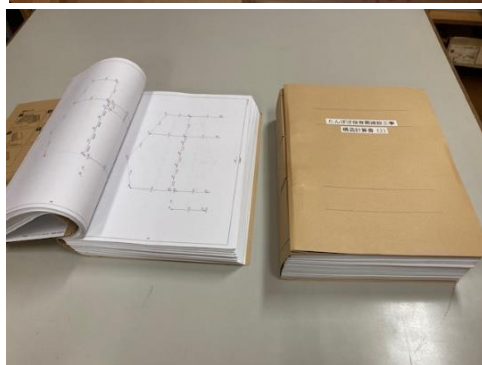
・省エネ関係

省エネについては住宅センターにはできれば仕様規定でお願いしたいと率直に言われた。計算にこだわっている設計者もいるが、とりあえずは仕様規定で対応していくつもりだ。現場からは切実な要望が示されている。外壁の断熱工事の際、ロックウール等の断熱だと添付の画像のように開口部回りのウレタンシール止め、テープ止めに非常に手間がかかるとのこと。また筋交いの部分の断熱材入れもかなり難しいので筋交いをやめて構造用合板で対応してほしい、断熱もコストがかかってもウレタン吹付にしてほしいとのことだった。



・直近の事例から保育園

昨年竣工した保育園の紹介。木造2階建て557㎡だが、その構造計算書だけで1500ページを超えた。表裏両面印刷でこの厚さが2冊。開いてみる気にもならない。本当に審査をしているのかしらと思うほど。大学の同期会で設計事務所をしていた同級生と話したところ、最近の業務煩雑さについていけないと廃業したといっていた。



たんぼぼ保育園

エーゲ海クルージング・島めぐり

4. ロードス島

前回はこのクルージングで唯一トルコ本土の町クシャダスのご紹介でした。今度で三回目の寄港地はギリシャのバトモス島です。(図-①)。

この島はローマ人に追放されたイエスの十二使徒の一人聖ヨハネが流された場所として有名です。ヨハネは島の洞窟で天啓を受け、聖書「ヨハネの黙示録」を書いたといわれる場所。その洞窟と修道院、そして修道院を取り囲むホーラという町の旧市街（以下旧市街）はバトモス島の歴史地区として世界遺産に登録されています。以前よりキリスト教の巡礼地としてエーゲ海のエルサレムともいわれ、世界中からのキリスト教徒で賑わっています。

個人旅行での洞窟や聖ヨハネ修道院の見学は、港にある観光タクシーを利用するしかありません。港から送り迎えしてくれて、見学時間は1時間というもの。そのタクシーに乗り、洞窟と修道院の見学へと向かいました。

見どころ

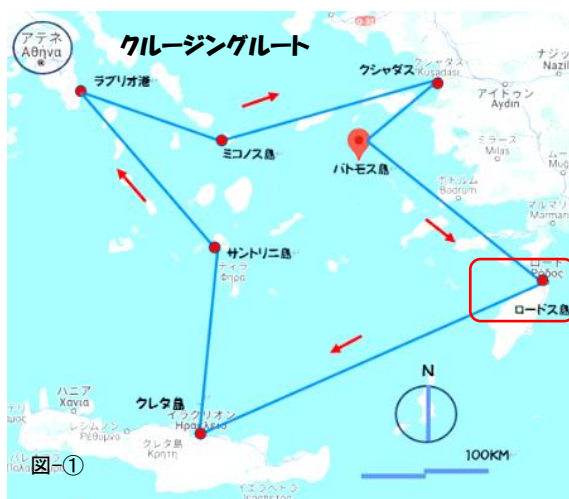
見どころ

小高い丘の中腹にある世界遺産の洞窟と山頂にある修道院がメインとなりますが、丘から見下ろすバトモス港を望む景観はどこから見ても実に美しい。今回クルージングによる島巡りでは、最も景観に優れた島ではないかと魅せられました。

バトモス港から見る旧市街と聖ヨハネ修道院

修道院は小高い丘の頂上にあり、白い旧市街に取り囲まれて要塞のようなたたずまい。

写真-①は帰りのテンダーボート(注)からみた修道院で、山の上に要塞のように建っている、とても修道



院とは思えない。なぜこのような造りになったのだろうか。ヨハネ修道院は東ローマ帝国時代の11世紀後半に建造。修道院の周りにつくられた旧市街は、聖なる場所を外敵からの攻撃や侵略から守るために要塞都市化されていったという。

(注：テンダーボートとは、大型クルーズ船が港に接岸できない場合、上陸や乗船するときに利用する小型の船)

「ヨハネの黙示録」が執筆された洞窟

パトモス島は、元々ローマ帝国の流刑地。キリスト教は異端の宗教として弾圧されていたローマ時代、イエス・キリストの愛弟子であったヨハネも例外ではなく流刑にあいパトモス島に流れ着いた。島をさまよったヨハネは、突然目の前に現れた洞窟でひっそりと暮らすことになる。その洞窟が、ヨハネが神の声を聴くことになった「黙示録の洞窟」。

この洞窟は港のあるホーラの町から急峻な山道を登り、聖ヨハネ修道院へ向かう途中にある。洞窟内には小さな祭壇が組まれホーラの人々の礼拝堂として、また世界中から観光客が訪れる世界遺産の巡礼地になっている。洞窟の入り口は順番を待つ多くの観光



客で賑わっていた（写真-②）。入り口の手前は湾を見下ろす展望テラスのようになっており、ここから見るバトモス港の景観は圧巻である。緑の丘陵に囲まれた入り江には、白い町並に囲まれた大型クルーズ船が停泊している。まさにエーゲ海ならではの絶景である（写真-③）。

旧市街の町並

修道院を取り囲む旧市街は、純白に統一された建物が並び、そそり立つレンガ色の修道院とのコントラストが青空に映え、実に美しい（写真-④）。

また旧市街の路地は大小様々で、どの路地もくねりがあったり行き止まりもあるなど、複雑な組み合わせで構成されている（写真-⑤）。まさに迷路。旧市街が修道院を守る要塞都市として造られた、その理由が納得できる。路地の中は同じような建物が連続し、しかもランドマークとなるような修道院やバトモス港も見えず、位置関係が確認できない。案内板もまったくなく、非常に迷いやすい。観光客の流れにそって進めば問題ないと、洞窟から修道院へは無事に行くことができた。これが後で後悔することになったのである。修道院からタクシー待ちしている場所までの路に迷った。来る時に歩いた路で、必死に記憶のある建物を思いだし、ようやくその建物を見つけて戻ることができた。



写真-④



写真-⑤

聖ヨハネ修道院

ギリシャを代表する世界遺産のひとつ聖ヨハネ修道院は11世紀に造られ、旧市街が東ローマ帝国の一部であった時代の建造物。現在は主教会・中央教会・聖マリア礼拝堂などいくつかの建物から成り、同じ敷地内に資料館も建てられている。見どころはイエス・キリストを題材にしたモザイク画。そのカラフルな色使いは今もなお色褪せることなく、旧市街を訪れる人々に感動を与えている。内部は撮影禁止であったので、ご紹介できず残念。写真は修道院入り口前にある中庭（写真-⑥）。



写真-⑥

○建築とまちづくりセミナー

宮城・仙台 東北大学@青葉山キャンパス

10月25日・土 セミナー

26日・日 見学会（大型バス移動）・三本塚、東松島、石巻

27日・月 オプショナルツアー・十三浜など

○全国大会

11月中旬Web開催

○全国事務局が移転しました

162-0801 東京都新宿区山吹町361 誠志堂ビル3階

地下鉄有楽町線「江戸川橋」駅 1b出口 3分

○WEB ちば塾

幹事の持ち回りで原則隔月第1金曜日に開催することになっています。幹事会にて検討中。

○千葉建築・街並探訪

年2回程度（候補地：東金、市川、行徳、三里塚など→コロナ騒ぎも終焉したことですし再開していきます。企画立ててご案内します。

以上お問い合わせは事務局まで

事務局だより

耐震診断や耐震改修の仕事を続いています。条件が厳しく煩わしい書類をたくさん要求されます。千葉市で最近手掛けた案件は昨年度からかわっていてやっと提出にこぎつけました。八千代市の案件も昨年からで、5月15日の受付開始一番に提出しないとその日のうちに定員が埋まってしまうそうです…。ところで全国大会がWEBです。ずっと参加してきたものとしては寂しいですね。（加瀬澤）

新建千葉支部事務局：株式会社 ゆま空間設計

TEL:043-253-8801 FAX:043-253-8806

千葉市若葉区みつわ台5-4-14

E-mail: office@yumaku-kan.co.jp

新建千葉支部ホームページ : <http://www5e.biglobe.ne.jp/~shinken/chiba/>

発行：千葉支部幹事会
編集：千葉支部幹事会
編集ワーク：中安博司

編集後記：3月号の発行が二ヶ月遅れになり申し訳ありません。5月号は300号および設立50周年を迎えます。これまでの活動などについて皆様にアンケートを送りますのでご協力お願いします。（中安）